女性の活躍に関する状況

１．採用した労働者に占める女性労働者の割合

令和４年度（人）

	総合職	業務職	合　計
男　性	12	0	12
女　性	2	9	11
合　計	14	9	23
女性割合	14.3%	100.0%	47.8%

２．男女の平均継続勤務年数

令和５年３月３１日現在（年）

	総合職	業務職	合　計
男　性	17.9	-	17.9
女　性	16.5	14.6	14.9
合　計	17.8	14.6	16.6
※男女の平均勤続年数の差異			83.2%

３．管理職に占める女性職員の割合

令和５年３月３１日現在（人）

	部店長･副部長･主任調査役	次長･調査役	代理･ﾁｰﾌﾘｰﾀﾞｰ	合　計
男　性	47	42	36	125
女　性	0	3	26	29
合　計	47	45	62	154
女性割合	0.0%	6.7%	41.9%	18.8%

４．男女別の再雇用または中途採用の実績

令和４年度（人）

	再雇用	中途採用
男　性	0	1
女　性	0	2

５．男女の賃金の差異

区分	男女の賃金の差異
全労働者	65.1%
うち正規雇用労働者	69.1%
うち非正規雇用労働者	38.6%

【付記事項】

・対象期間は、２０２２年度（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）となっています。

・正規雇用労働者は正職員で中途採用者・短時間勤務者を含み、育休者・休職者は含めておりません。

・非正規雇用労働者は契約職員・パートタイム職員です。

・賃金は基本給、超過勤務手当、通勤手当、賞与等含み、退職手当金は含めておりません。

・非正規雇用労働者の男女の賃金の差異の主な原因は、契約職員（定年後再雇用者）に男性の割合が高いこと、
　また、所定就業時間の短いパートタイム職員に女性の割合が高いことが考えられます。